

# Mi-GOM

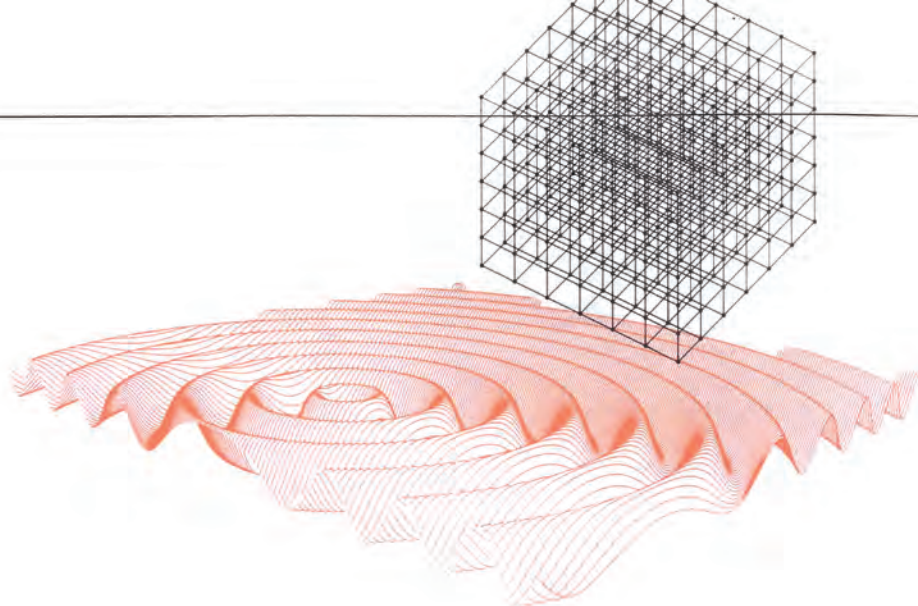
武蔵工業大学後援会誌

No. 9

1993-12







## 工学士の卵に期待する

海外旅行の折、機上の私達は日本の狭さを感じじみと痛感させられます。日本は資源小国という条件との悪戦苦闘の路をたどってきました。しかし、資源小国が故に日本は工業技術立国として急成長できたということもできるし、その方が正しい見方であるように思われます。いずれにせよ狭い、資源のないわが国にとって工業技術、広く言えば科学技術に頼らずして日本の今日はなかったであります。また、今後も科学技術以外に国を支える大黒柱を探すのは難しいことです。これは現実を直視すれば誰の目にも明らかです。そんな意味からも学生達が現状を認識し、その期待の一翼をしっかりと担えるような技術者としての基礎を4年間という工学士の卵の期間に、確実に実をつけてくれることを強く希わずにはられません。

今日のように科学技術の分野が細分化されればされるほど、仕事の専門性がますます強くなるであります。従って、その仕事に対して大局的な観点から問い直し、判断でき

武蔵工業大学後援会

副会長

伊藤 泰 郎



るような資質が技術者には一段と重要になってきたことは確かです。すなわち、これからの技術者には自らのモラルや価値観から見て肯定できる仕事であるかどうかを、自ら判断し自ら実行に移してゆくような資質が要請されてくる筈です。とりわけ、次世代の日本は、大学生のほぼ20%にあたる工学系の学生、すなわち工学士の卵に託されていると言っても過言ではありません。21世紀を切り拓くのは紛れもなく工学士諸君でありましょう。したがって、これからの技術者には、絶大な使命が課せられていると同時に、社会からの大きな夢が託されています。工学士の卵達よ、しっかりとした自分の夢を持ち、夢を追い続け、それにポジティブな姿勢で取り組むような技術者に育って欲しいと願っています。



# 恒例武蔵工大 「大学と父母との連絡会」開催

東京地区は600余名参加

武蔵工大の恒例となっている「大学と父母との連絡会」。今年も7月11日から9月26日までの間、全国26カ所で開催されました。

この連絡会は、毎年学生の夏期休業を利用して大学の教職員が各地区に赴き、大学の現況について説明し、また学生の近況と今後について話し合い、相互に学生生活を正しく理解することを目的として、昭和40年代前半から他大学に先駆けて実施されています。また、平成元年には後援会が設立され、大学の主催だったこの連絡会も大学と後援会との共催になり、父母の方々の関心もより高まってきています。

本年度の最後の開催地となったのは首都圏を対象とした東京地区。600余名もの父母が参加された会場のようすをお知らせします。



▲受付風景



▲満席の全般説明会々場

## 上天気恵まれ、参加者の出足好調

平成5年9月26日(日曜日)、武蔵工大キャンパスで東京地区の「大学と父母との連絡会」が行われました。雨が多く短かった今年の夏を惜しむかのような上天気恵まれ、最寄りの尾山台駅からキャンパスまで歩くと汗ばむほど。上着を腕にかけているお父さんや半袖姿のお母さんも見かけられました。

10時30分の受付開始前から続々と父母の方々が集まり、参加者の出足は好調です。今日のスケジュールは、11時20分体育館に集合、その後1時まで20～30人ずつのグループに分かれて学内見学と学生食堂での試食、1時に再び体育館に集合し、学長、後援会役員および就職連絡協議会議長の挨拶、そして2時から各教室にて学科・学年別懇談会、3時から希望者にのみ個人面談となっています。

## クラブハウスの屋上からキャンパス周辺を望む

武蔵工大は学生の課外活動に力を入れ、その設備の充実を図っています。クラブへの加入率は在学生の約50%。実験・実習の多い理工系大学の中では極めて高い数字です。そんな課外活動の拠点となっているのが、今回の学内見学コースの一つでもある4階建てのクラブハウス(18号館)。体育系・文化系合わせて50団体の部室と4つのミーティングルームや2つの音楽練習室等が入っています。

担当者に誘導され、キャンパスから500mほど離れたクラブハウスまで歩いた父母たちは、まず屋上へ。ここからはゆったりと流れる多摩川と、豊かな緑に囲まれた武蔵工大キャンパスが一望できます。また、多摩川の広い河川敷には野球・ラグビー・アメリカンフットボール・サッカーのグ



ラウンドを備えた武蔵工大の総合運動場があり、練習に励む学生の姿も見えました。

さわやかな青空のもと、心地よい風に吹かれながら美しい景色を堪能した後は、クラブハウス内の見学です。1階のシャワー室、更衣室、体育系クラブの部室や2階の音楽練習室などを見て回りましたが、その雑然とした状態にしばしあ然。担当者の「改築後3年しか経っていないのですが…」という説明に、「まあ、学生の部室なんてこんなも



▲18号館の案内ボードに見入る

んだよ」と納得するお父さん、「とても有効(?)に使っているんですね」と苦笑するお母さん。これもありのままの学生生活に触れるよい機会になったようです。

このほか、水素エネルギー研究センター、情報処理センター、機器分析室などではその研究・設備の充実度に感嘆の声があがっていました。



▲研究中の水素エネルギー自動車についての説明を聞く

## 武蔵工大の胃袋、学生食堂で 特製カレーライスを試食

平成3年に改築されたという学生食堂は明るく広々としています。1階の食堂と喫茶室、2階の軽食コーナーを合わせて572席あり、昼食時には多くの学生で賑わうそうです。また朝には納豆、海苔、煮物、お新香、生玉子、それにご飯とみそ汁のついた定食もあり、値段は220円。このほかメニューも豊富で高いものでも450円で食べられます。営業時間は午前8時30分～午後6時。朝、昼、晩の三食とも学生食堂を利用する学生もいるそうで、学生食堂はまさに武蔵工大の胃袋といったところ

です。

学内見学の合間にほっと一息、学生食堂で昼食

です。広いキャンパスを歩き回って、ちょうどおなかもすいてきました。今日のメニューはカレーライス。父母の方たちは「懐かしい味わいね」と、言いながら、学食の雰囲気



▲学生食堂で昼食を楽しむ

## 量より質の教育を目指す……古浜学長の挨拶

午後1時から、体育館で古浜庄一学長の挨拶がありました。

初めに「国内の工業の発展が曲がり角に来ているのではないかと問題を提起し、その理由を、「従来の日本の工業というのは、国内で激しい競争をしながら同じ物を大量に生産してきましたが、発展途上国の技術力が向上して、より低コストで日本と大差のない製品を生産できるようになったため、市場においては日本より条件が有利になったからです」と説明します。そして、「日本の国民全員が今以上の文化生活の享受を望むなら、将来は日本でなければできない、付加価値の高い製品・技術の開発を目指す必要があります」と述べられてから、日本の教育について触れ、「小学校から大学まで何百万人という子供に全く同じ教育を強制していますが、これでは社会に出て自分新しい分野を切り開いていこうという人間は育ってきません」と指摘します。

そこで武蔵工大では、広い人間性を持った青年を育て、特色ある学生を社会に送り出したいと考え、入試形態をA方式(私立理系3教科型)、B方式(センター試験利用型)、自己推薦入試の3種取り入れたり、課外活動を推し進めたりしているとのことでした。さらに、大学が評価されるためには活発な研究が成さなければならないが、文部省から研究・教育設備の費用として支給される特別補助金も武蔵工大は私立大学の中では高く、常に研究・教育設備の充実にも努力しているということ



▲「広い人間性をもつ」と語る古浜学長



最後に学生の就職について「本学の目標としている教育方針に沿って学生生活を送られれば、自然に良いところに就職できると思っています。ただし、父母の方をお願いしたいことは、超一流の企業ばかりが良い会社とは限らないということです。小さな会社でも、学生が自分の得意とすることを発揮できる場所を選んでいただきたいと思います」と締めくくられました。

### 大学と父母とのパイプをより太く

続いて後援会を代表して飯田進也理事が後援会の活動主旨について話されました。

第一はクラブ活動・MIT祭・体育祭などの課外活動への援助、第二は施設・備品、福利・厚生などの学生生活への援助、第三は大学と父母との連絡会の開催、第四は会員相互の親睦を図る、以上4つの柱を中心に活動を推し進めているとのことでした。

次に、「現在、後援会の会員は3,940名で在学生の父母の約80%が参加され、後援会は会員の会費によって成り立っている…」と説明されたうえで、「在学生がのびのびと学業に励み、明るく楽しい学生生活を送れるように援助していくためにも、大学と父母とのパイプを太くし、会員の皆様の意見を十分に汲み取った後援会を作っていきたいと考えています。今後もご理解とご協力をお願い致します」と述べられました。



▲後援会の活動について、飯田理事

### 希望する就職先は低学年のうちに決める

今年の就職状況について就職連絡協議会議長の井出正男教授からの報告がありました。

9月25日現在の就職内定者は全体で87%。従来は夏休み前にほとんど内定していたそうです。また、求人数は9月1日現在15,303人で、昨年より5%しか減少していないものの大手企業は人数を絞ってきているため希望する会社に入れない人も多くなっているとのこと。平成6年度も相当厳しい状況になりそうですが、「いわゆる人気企業ではなくても技術的にしっかりしている会社がたくさんあります。低学年のうちから方針を決め、そう

いう会社を希望しておけば比較的入りやすいのではないかとと思われる」ということでした。そして「就職するにしても、大学院に進むにしても、学生の評価は普段の努力によってなされます。大学で勉強している以上しっかりした学力を身につけることが大切です」と述べられました。



▲厳しい就職状況を示す井出教授

### 家庭でのコミュニケーションを大切に

午後2時すぎ、会場を各学年・学科の教室に移して懇談会が行われました。機械工学科1年の教室には60名ほどの父母が出席。担当の川嶋元士主任教授が学修要覧、履修単位、成績表の評価基準、卒業生の就職状況、大学院への進学などについて説明されました。その後、ユーモアのある川嶋教授の口調に父母の緊張もとけ、活発な質疑応答がなされました。その一つ「出席はとるのか、また出席点というものはあるのか」という質問に対し、川嶋教授は、科目担当の先生によって違うがと前置きしたうえで、「機械工学は物を作る科学で、実際に手を動かしたり、体を動かしたり、いろいろな物をさわったりして研究することが大切です。そのため実験・実習には重点をおいているので出席か欠席かは評価の一つの基準となる」と答えられました。また、「大学と家庭は、学生の学生生活を支える車の両輪のようなものです。どうぞ普段からお子さんとコミュニケーションを図ってください」と繰り返し述べられました。

多くの父母の方が参加され、盛況のうちに終わった東京地区の「大学と父母との連絡会」。これを機会に大学と父母、父母と学生、さらに父母同志のコミュニケーションがより一層深まることと思います。



▲学科・学年別懇談会はなごやかな雰囲気のもとで…。



前年度に引き続き、今年度の雇用環境も不況色が濃く、企業の採用意欲にも深刻なかげりが見られました。

本学の求人状況にもこの影響が如実に現われ、対前年比約3割減となっております。そのため学生達は、企業選択においても前年度以上の苦労を味わったのではないかと思います。採用人員縮小の影響は、学生に対する選考基準のアップへつながり、同時に企業研究が不足している学生について

は例年以上に苦戦を強いられる結果となりました。

しかし、不況の洗礼を受けながらも10月中旬には、一部特殊な業種を除き、ほとんどの学生が内定を得ており、この逆風の中間闘をしたと言えるでしょう。

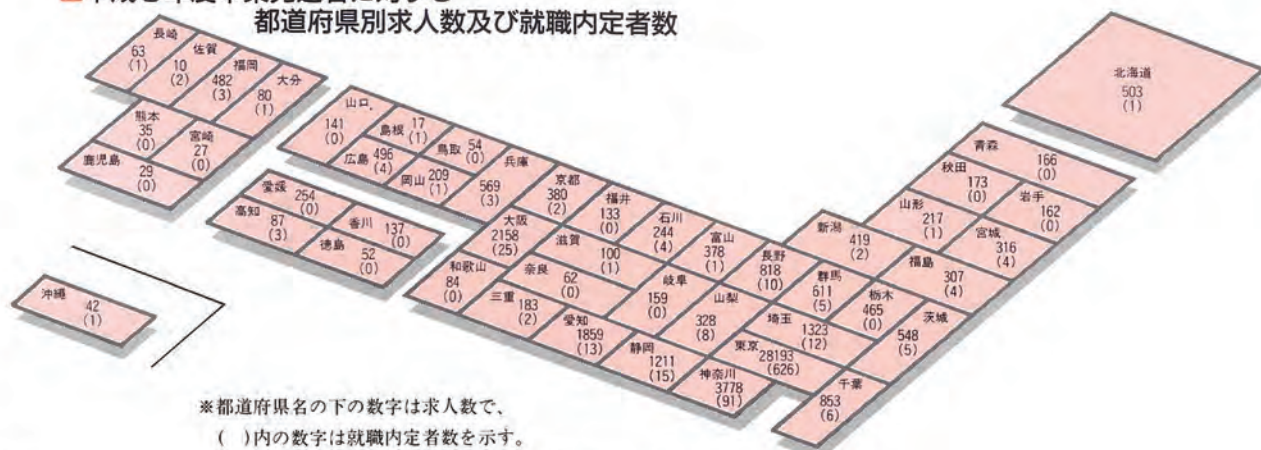
今後さらに不透明さが予想される就職戦線に備え、理工系学生としての基礎知識の修得は勿論のこと、就職活動に対する積極的な取り組み方が望まれるところです。

## 平成5年度求人就職内定状況

(資料は平成5年10月29日現在 大学就職課より)

|                                      | 項 目<br>学科・専攻 | 就 職<br>希望者 | 就職者 | 就職率<br>(%) | 求 人<br>企業数 | 1人当り<br>の企業数 | 求人数    | 1人当り<br>の求人数 | 進学希望 | その他 |
|--------------------------------------|--------------|------------|-----|------------|------------|--------------|--------|--------------|------|-----|
| 工<br>学<br>部                          | 機 械 工 学 科    | 219        | 215 | 98.17      | 3,091      | 14.1         | 5,137  | 23.4         | 96   | 9   |
|                                      | 電気電子工学科      | 79         | 79  | 100.00     | 3,155      | 39.9         | 5,218  | 66.0         | 62   | 6   |
|                                      | 電子通信工学科      | 79         | 75  | 94.93      | 2,393      | 30.2         | 4,157  | 52.6         | 22   | 1   |
|                                      | 建 築 学 科      | 85         | 81  | 95.29      | 2,429      | 28.5         | 4,526  | 53.2         | 50   | 6   |
|                                      | 土 木 工 学 科    | 93         | 87  | 93.54      | 2,392      | 25.7         | 4,495  | 48.3         | 29   | 1   |
|                                      | 経 営 工 学 科    | 153        | 147 | 96.07      | 1,965      | 12.8         | 3,553  | 23.2         | 31   | 9   |
|                                      | 小 計          | 708        | 684 | 96.61      | 15,425     | 21.7         | 27,086 | 38.2         | 290  | 32  |
| 大<br>学<br>院<br>工<br>学<br>研<br>究<br>科 | 機 械 工 学 専 攻  | 31         | 30  | 96.77      | 1,771      | 57.1         | 3,308  | 106.7        | 2    | 2   |
|                                      | 生産機械工学専攻     | 29         | 28  | 96.55      | 1,696      | 58.4         | 3,220  | 111.0        | 1    | 1   |
|                                      | 電 気 工 学 専 攻  | 54         | 53  | 98.14      | 1,840      | 34.0         | 3,387  | 62.7         | 3    | 4   |
|                                      | 建 築 学 専 攻    | 27         | 22  | 81.48      | 1,517      | 56.1         | 3,075  | 113.8        | 1    | 1   |
|                                      | 土 木 工 学 専 攻  | 25         | 23  | 92.00      | 1,497      | 59.8         | 3,037  | 121.4        | 0    | 0   |
|                                      | 経 営 工 学 専 攻  | 18         | 16  | 88.88      | 1,449      | 80.5         | 2,945  | 163.6        | 2    | 4   |
|                                      | 原子力工学専攻      | 2          | 2   | 100.00     | 1,368      | 684.0        | 2,857  | 1428.5       | 0    | 4   |
|                                      | 小 計          | 186        | 174 | 93.54      | 11,138     | 59.8         | 21,829 | 117.3        | 9    | 16  |
|                                      | 合 計          | 894        | 858 | 95.97      | 26,563     | 29.7         | 48,915 | 54.7         | 299  | 48  |

## 平成5年度卒業見込者に対する 都道府県別求人数及び就職内定者数





■平成5年度就職内定先上位50社

| 順位 | 企 業 名            | 工 学 部 |     |     |     |     |     | 大 学 院 |     |     |     |     |     | 合 計 | 昨 年 実 績 |     |
|----|------------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|
|    |                  | 機 械   | 電 気 | 通 信 | 建 築 | 土 木 | 経 営 | 機 械   | 生 産 | 電 気 | 建 築 | 土 木 | 経 営 |     |         | 原 子 |
| 1  | 東急建設株            | 1     | 1   |     | 3   | 2   | 1   |       |     |     | 2   | 1   |     |     | 11      | 7   |
| 2  | 東京電力株            | 1     | 1   | 2   |     |     | 1   |       | 1   | 2   |     |     |     |     | 8       | 12  |
|    | オリンパス光学工業株       | 2     | 1   | 2   |     |     | 2   |       | 1   |     |     |     |     |     | 8       | 8   |
| 4  | キヤノン株            | 1     |     | 1   |     |     | 2   |       | 1   | 2   |     |     |     |     | 7       | 11  |
|    | 大成建設株            |       | 1   |     | 1   | 2   |     |       |     | 1   | 1   |     |     |     | 7       | 12  |
|    | 清水建設株            | 1     |     |     | 1   | 1   |     |       |     |     | 3   | 1   |     |     | 7       | 5   |
|    | 日野自動車工業株         | 4     |     |     |     |     |     | 3     |     |     |     |     |     |     | 7       | 3   |
| 8  | 株東芝              |       |     |     |     |     |     |       | 2   | 3   |     |     |     | 1   | 6       | 7   |
|    | 株日立製作所           |       |     |     |     |     |     | 1     | 1   | 3   |     |     |     | 1   | 6       | 14  |
| 10 | 日本電気株            | 1     |     | 2   |     |     | 1   |       |     | 1   |     |     |     |     | 5       | 10  |
|    | バイオニア株           | 1     |     | 1   |     |     | 1   |       |     | 2   |     |     |     |     | 5       | 14  |
|    | 株荏原製作所           | 1     | 1   |     |     |     | 1   |       | 1   |     |     | 1   |     |     | 5       | 5   |
|    | 東亜建設工業株          |       |     |     | 3   | 2   |     |       |     |     |     |     |     |     | 5       | 1   |
|    | YKK吉田工業株         | 3     |     |     |     |     | 1   | 1     |     |     |     |     |     |     | 5       | 0   |
|    | 東芝エンジニアリング株      | 3     | 1   | 1   |     |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 5       | 2   |
|    | 新菱冷熱工業株          | 1     |     |     | 3   |     |     | 1     |     |     |     |     |     |     | 5       | 5   |
|    | 東電設計株            | 1     | 1   |     |     | 1   |     |       |     |     | 1   | 1   |     |     | 5       | 0   |
|    | 横浜市役所            |       |     |     | 1   | 1   |     |       | 1   |     |     | 2   |     |     | 5       | 4   |
| 19 | 東日本旅客鉄道株         | 1     | 1   |     |     |     |     | 1     |     |     |     | 1   |     |     | 4       | 2   |
|    | 松下電器産業株          | 1     |     | 1   |     |     |     |       |     | 2   |     |     |     |     | 4       | 4   |
|    | 全日本空輸株           | 4     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 4       | 3   |
|    | 株フジタ             |       |     |     | 3   |     |     |       |     |     | 1   |     |     |     | 4       | 5   |
|    | 株大林組             | 1     |     |     | 1   | 2   |     |       |     |     |     |     |     |     | 4       | 5   |
|    | 佐藤工業株            |       |     |     | 1   | 2   |     |       |     |     |     | 1   |     |     | 4       | 1   |
|    | 株小糸製作所           | 2     |     | 1   |     |     | 1   |       |     |     |     |     |     |     | 4       | 0   |
|    | 能美防災株            | 2     | 2   |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 4       | 0   |
|    | 日本ロジテム株          |       |     |     |     |     | 4   |       |     |     |     |     |     |     | 4       | 0   |
|    | 田中貴金属工業株         | 1     |     | 1   |     |     | 1   |       | 1   |     |     |     |     |     | 4       | 0   |
| 29 | 日産自動車株           |       |     |     |     |     | 1   | 1     |     | 1   |     |     |     |     | 3       | 7   |
|    | 株青木建設            | 1     |     |     |     | 2   |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 0   |
|    | 大和ハウス工業株         |       |     |     | 1   | 1   |     |       |     |     | 1   |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 株ブリヂストン          | 1     |     |     |     |     | 2   |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 沖電気工業株           | 1     |     | 1   |     |     |     |       |     | 1   |     |     |     |     | 3       | 6   |
|    | 富士電機株            |       |     |     |     |     |     |       | 1   | 2   |     |     |     |     | 3       | 6   |
|    | 東京電気株            | 3     |     |     |     |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 1   |
|    | 戸田建設株            | 1     |     |     | 1   | 1   |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 西松建設株            |       | 1   |     | 1   | 1   |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 5   |
|    | 富士ゼロックス株         |       |     |     |     |     | 1   |       | 1   | 1   |     |     |     |     | 3       | 6   |
|    | 前田道路株            | 1     |     |     |     | 2   |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 0   |
|    | 鉄建建設株            |       |     |     | 2   | 1   |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 1   |
|    | 前田建設工業株          |       |     |     |     | 1   |     |       | 1   |     | 1   |     |     |     | 3       | 3   |
|    | 株明電舎             | 1     | 1   | 1   |     |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 0   |
|    | 千代田化工建設株         | 1     |     |     | 1   |     | 1   |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 4   |
|    | マックス株            | 2     |     |     |     |     |     | 1     |     |     |     |     |     |     | 3       | 1   |
|    | NTTデータ通信株        |       |     |     |     |     | 2   |       |     |     |     |     | 1   |     | 3       | 1   |
|    | 横河・ヒューレット・パッカート株 |       |     | 2   |     |     |     |       |     | 1   |     |     |     |     | 3       | 0   |
|    | 株協和エクシオ          |       |     |     |     | 1   | 2   |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 株キトー             | 1     | 1   |     |     |     |     | 1     |     |     |     |     |     |     | 3       | 0   |
|    | 不二サッシ株           |       |     |     | 3   |     |     |       |     |     |     |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 株守谷商会            |       |     |     |     | 2   |     |       |     |     |     | 1   |     |     | 3       | 1   |
|    | 日本放送協会           |       | 1   | 1   |     |     |     |       |     |     | 1   |     |     |     | 3       | 2   |
|    | 国家公務員(II種)       | 1     |     |     |     | 1   |     |       |     |     |     | 1   |     |     | 3       | 2   |

# クラブ活動紹介⑧

今回ご紹介するのは、今年の活躍が光る音楽スキ集団「バチェラーセブン」と、北は北海道から南は沖縄まで、自然の素晴らしさを求めて青春を謳歌している「ワンダーフォーゲル部」です。

## 音楽は、ぼくらの青春。—— 武蔵工大バチェラーセブン



◀バンドコンテスト会場の熱演

### バチェラーセブン

顧問：押川恵一 助教授(自然科学系)

部長：綿貫敬介(機械工学科3年)

部員数：40名(内女子3名)

音楽好きの若者はたくさんいますが、バチェラーセブン(文化団体連合会所属)の部員たちの音楽好きはハンパではありません。音楽なしでは生きられないというほど音楽フリークの彼らの青春の1ページをご紹介します。

### さまざまなジャンルのバンドが、自由に練習

バチェラーセブン(Bachelor Seven)とは「7人の独身者」という意味だそうで、昭和41年、7人の音楽好きが集まってモダンジャズのバンドを作り、活動を始めたのがクラブ名の由来とか。

現在、部員数は40名(女子3名)。モダンジャズだけではなく、いろいろな音楽ジャンルのバンドが活動しています。たとえば、「<sup>リキッド</sup>Liquid Fingers」(フュージョン)、「<sup>アシッド スパイス</sup>Acid Spice」(ロック)、「復活弟バンド」(クロスオーバー)、「<sup>ポール アンド ザ</sup>Paul & The Double Travel」(リズムアンドブルース)など、全部で10バンド。各バンド4～5人ずつのメンバーで、自分たちの好きな音楽を自由に練習しています。

しかし、練習は各バンドごと、他のバンドと一

緒に練習することはほとんどないという状況で、クラブとしてのまとまりはどうなっているのでしょうか。部長の綿貫敬介君(機械工学科3年)は、「毎週土曜日に全員でミーティングをし、各バンドの練習日を決めたり、音楽に関するさまざまな情報交換をしています。学園祭が近くなるとその打合せや準備もします」そして、夏には全員で5泊6日の合宿に行き、思う存分練習をしながら部員同士のコミュニケーションをはかっているし、「音楽が好き」という気持ちだけで十分に部員たちはまとまっているとのことでした。



▲柄山博樹君(経2)のギターに合わせる綿貫部長のサクソ

### 先輩のギターに魅せられて入部を決意

それでは部員たちにとって、バチェラーセブンの魅力とはいったい何なのでしょう。



宮沢君のギターはプロはだし▶



「このクラブなら僕の好きな音楽ができそうだなと思ったんです」と、宮沢 崇君(電気電子工学科

4年)。1年の12月からバチラーセブンに入ったという宮沢君は、今ではクラブでも折り紙付きの名ギタープレイヤーで、6月に行われた“Super Gimmick Special”というバンドコンテストで、60を越す出場バンドの中から Best Guitarist 賞を獲得しました。綿貫君は「自分でアドリブができるようになりたくて」ブラスバンド部をやめて2年から入部したと言います。自由な雰囲気の中で各自が自分の個性を生かして楽しく演奏できるということが、このクラブの大きな魅力の一つのようです。



▲夢多き人、滝沢君

「高校時代からベースを弾いていたのですが、いっしょにやる仲間をさがしていました」という戸部智昭君(機械工学科4年)や「高校の時から曲を作っていて、自分の曲を自分のバンドで演奏してみたかった」という滝沢英樹君(経営工学科4年)のようにバチラーセブンなら、自分の夢が実現できるかもしれないと思って入部した部員もいます。大学に入る前からずっとギターを弾いていたという副部長の永田好伸君(機械工学科3年)は、2年の春、クラブの勧誘コンサートでバチラーセブンの演奏を聴き、「これまでのアマチュアバンドに対する考えを覆される」ほど感動したので入部を決意したと言います。とくに宮沢君のギターには魅せられてしまったとか。音楽を楽しむだけでなく、演奏レベルも高いというのが、このクラブのもう一つの魅力といえそうです。



▲音楽は充分やりました。これからは？  
進学(大学院)が希望と永田君



▲大きな態度やっぱりOB、笑顔がまだ学生気分の大畑君。  
ベースの坂爪裕幸君(通4)も来年はオービーだぞー。

## メシより音楽、それから勉強

バチラーセブンの練習は18号館(クラブハウス)2階の練習室で行っていますが、フォークソング部と半月ずつ分けて使っており、さらにその半月を10バンドで分けなければならないことから、各バンドの練習時間はたいへん短くなります。大きな音を出すのでいつでもどこでも練習するというわけにはいかず、防音装置のついたスタジオを借りて練習することも多いとか。

ピアノ、ドラム、アンプ類を除いて楽器はすべて部員が個人で購入したもの。その支払いや、スタジオの使用料などを賄うため、アルバイトをしている部員も多くいます。ひとり暮らしだという永田君は、「好きな音楽をやれるのなら、少しくらいメシを減らしたっていい…カナ」くらいの気持ちで、週1~2回はアルバイトをしているそうです。

こんなにクラブやアルバイトが忙しくて、勉強の方は大丈夫なのでしょう。

「授業にはきちんと出ています」と永田君。滝沢君は「クラブと勉強の両立は努力しだい。忙しくてもやっていることが楽しいし…」就職先も決まり、今は卒業研究に追われているという戸部君は「勉強の暇を見つけて音楽をやってきました。うまく両立できた方じゃないかと思います。」



▲就職決定、今が最高の戸部君

それぞれのバンドは卒業と同時に解散することもあるし、続けている人達もいるとのこと。OBも時々来て演奏や勉強についていろいろとアドバイスをしたり、何かとめんどろをみってくれるそうです。私たちが訪れた日にも今年卒業したばかりだという大畑一夫君(経営工学科OB)が来て、じっと練習に聴き入っていました。





▲ベース…戸部(ガンバリ屋)



▲ドラム…佐藤(温情の人)



▲ボーカル…滝沢(詩人)



▲ギター…永田(学究派)

## Acid Spice、バンドコンテストで熱演

10月31日(日)、明治学院大学の学園祭でバンドコンテスト『BAND BATTLE '93』が行われました。出場するのは、テープによる一次審査で約80ものバンドの中から選ばれた6つのバンド。その中の一つがバチェラーセブンのロックバンド Acid Spice です。メンバーは滝沢君(ボーカル)、永田君(リードギター)、戸部君(ベースギター)、佐藤隆治君(ドラム、電子通信工学科4年)の4人。今日のコンテストでベスト3に選ばれると、11月22日、コンテストの主催者である東京・竹芝のライブハウス INK STICK Suzue FACTORY に出演することができます。



▲メンバー随一の人格者、佐藤君

午後3時40分、明治学院大学キャンパス中庭の特設ステージでコンテスト開始。各バンドの持ち時間は10分、2曲ずつ演奏します。

秋の日のはつるべ落とし、4番目のバンドの演奏が終わるころには、日も暮れかかってきました。午後4時45分、5番目にわれらが Acid Spice の登場です。1曲目は『雨』。ブルースハープを入れ、しっとりと聴かせます。2曲目は『Provocative Boy』。1曲目とは雰囲気ガラリと変わり、かなりハード。選曲もなかなかです。どちらの曲も滝沢君の作詞・作曲だそうです。ふだんは物静かな感じの滝沢君も舞台の上ではみごとなロック野郎に変身、熱演します。

演奏後、審査員の一人は「最高でした。白いシャツにジーパンという飾らない姿に僕たちの忘れていたロック魂を感じてグッときました」

審査員の印象はよかったようですが、やはり結果を聞くまでは安心できません。他のバンドも相当実力を持っています。

日もとっぷりと暮れた午後6時10分、いよいよ審査結果の発表です。最初に名前を呼ばれたのは女性だけのバンド「デカパンチョ」。次に呼ばれたのが明治学院大学の「ハッスルマン」。残るはあと一つ。「最後は…」司会者の声にステージも観客も緊張の一瞬です。さあ、あと一つは…「Acid Spice!」入賞です!

審査結果の発表が終わるころ、雨がポツポツと落ちてきました。『雨』の歌詞の中には「人一倍雨が嫌いだった…遠くで雷がざわめくだけで自信も度胸もすべてなくなる…」とあったけれど Acid Spice のメンバーの自信と度胸は、これくらいの雨で、なくなることはなさそうです。



▲入賞。左から「うれしい…」「当然」「本当かな?」「やっぱしなあ」

“Bachelor”には「独身者」のほかに「学士」という意味もあります。音楽に勉強にと情熱をかけて大学生活を送るバチェラーセブンの部員たち、卒業する時にはまさにすばらしい“Bachelor”となっていることでしょう。



# 自然の素晴らしさを体感—武蔵工大ワンダーフォーゲル部



◀この時のために…。檜尾山頂にて

## ワンダーフォーゲル部

顧問：安味貞正 教授(機械工学科)

主将：加藤宏幸(経営工学科3年)

部員数：22名

自然に親しむ手軽なレジャーとして、昨今、アウトドアを楽しむ人々が急増しています。ワンダーフォーゲル(略してワングル)は、まさに自然の素晴らしさを体感するのに、うってつけのスポーツです。さてここでは、平成5年10月8日から11日に行われた秋合宿の紀行文を交えながら、創部36年目を迎える我が武蔵工大ワンダーフォーゲル部の活動をご紹介します。

三君(電子通信工学科1年)のように活動内容はもちろん、楽しそうな部の雰囲気魅せられて入部した人もいなど、バラエティに富んだ人たちが集まっています。



▲「楽しいクラブです」松本君

## いつも雨の合宿。今年の天気はいかに!!

さて、今回の秋合宿は、中央アルプス、尾瀬、鳳凰三山の3か所に分かれて行われました。部員の希望とメンバーの釣合いから、パーティ、役割を決定。プランから実行まで、合宿のすべてにおいて部員たちの意見が反映しています。それでは、合宿の様子を紀行文で追ってみましょう。

### ■中央アルプス合宿 熊井俊幸(経・1年)

去る10月8日、僕は中央アルプス(駒ヶ岳、熊沢岳、空木岳)を目指し新宿駅を出発した。今回の合宿の目的は、Party leader、Sab leader養成。2年生がやっていたSab leaderを僕等1年がDay sab leaderとして受け継ぎ、2年生がleaderを務めるのだ。企画書の作成から、現地の役場やその関係機関にコース状態を確認したり、登山届けを出したり、事故対策委員会にも出席するなど、本当に大変だったが、自分たちの力で合宿を成功させるんだという気持ちが入った。



▲「お天気が心配」熊井君

## 賑やか、活気があるって、僕たちのことサ。

ワンダーフォーゲルとは、ドイツ語で「渡り鳥」という意味。武蔵工大ワンダーフォーゲル部は、その意味のごとく、山へ行ったり、南の島へ行ったりと、活動の範囲と形態の幅広さが特徴です。春には沖縄・西表島で海を泳いだり、歩いたり…。夏には北海道にキャンプへ行ったり、そして冬は気のおけない仲間たちとスキーを楽しんだり、自然に触れる機会が盛り沢山。現在、1年生8名、2年生5名、3年9名、計22名の部員が、とにかく賑やかに活動しています。メンバーには、高校の時、国体やインターハ



▲自信満々 浅川君



▲「やっと慣れました」蔵本君

イに出場し、登山競技8位という成績を持つエキスパート浅川英隆君(電気電子工学科2年)もいれば、松平義信君(電気電子工学科1年)、蔵本晃





▲駒ヶ岳山頂にて。前列左より越智栄次郎君(機2)、松平義信君(電1)、熊井俊幸君(経1)、和藤智昭君(機3)、藤井建吾君(機3)、後列左より成嶋貴広君(機3)、渡辺浩史君(建1)



▲尾瀬沼



山頂からの360°の展望や紅葉の始まっている湿原の風景は素晴らしかった。

しかし、尾瀬が抱える数々の問題も目の当たりにしたのだ。尾瀬といえば、徹底したゴミ持ち帰り運動や湿原の中にどこまでも続く木道が有名だが、その木道の下や隙間に菓子の包み紙や果物の皮が捨てられていたり、あまりぬかるんでいない所では、木道の周りの植物が踏みつぶされていたりする。山小屋が密集する地域では、小屋やトイレからの排水による湿原の富栄養化対策として、大型浄化槽を設置し自家発電で運転しているが、莫大な維持費がかかるため、トイレに料金箱が置かれている。



▲いつも先頭に行く、三好君

これらの問題は、入山者の増加が原因。一番良い解決策は人間が尾瀬に入らないことである。今回の合宿では人間と自然が共存することの難しさをとくに感じた。



▲尾瀬沼から沼山峠に向う。

手前から恩田希洋君(機3)、諏訪部泰紀君(建3)他4名

出発当日は、東京に台風が近づいていて、天候が心配されたが、合宿中は雲一つない晴天に恵まれた。今まで雨の山しか経験していない僕は、山に登る楽しさを感じることができ、嬉しかった。重い荷物を全く気にせずに、景色を思いっきり楽しんだし、また夜は、東京では絶対に見ることができない満天の星空も満喫できた。

山登りは本当に疲れたが、なかなか見ることができない雲海、ブロッケン現象など、素晴らしい体験をしたと思う。



▲三ノ沢岳をバックに渡辺浩史君(建1)



## ■尾瀬 三好智紀(機・1年)

尾瀬は大正時代から幾度もの開発の危機を、尾瀬を愛する人々の反対運動により免れてきた。その結果、貴重な自然の宝庫として知られ、毎年多くの人々が訪れている。私たちは、10月の連休にその尾瀬で合宿を行った。

私は個人で過去3回尾瀬を訪れているが、今回の合宿では、今まで装備や時間の関係で行けなかった燧ヶ岳(2,346m、東北以北では最高峰)などにも足を伸ばすことができた。天気にも恵まれ、





▲南アルプス鳳凰三山縦走。岩道、砂道ゆくさは紅葉、雲海そして湧き水の旨さ▲



▼また1つ貴重な体験を得た、渡辺君



## ■鳳凰での合宿 石井芳明(機・1年)

合宿が終わっての率直な感想といえば、「ほっとした」の一言に尽きる。帰りに毎朝通学の足として使っている電車に乗った時は、思わずため息が出た。そして、山での不自由な生活に比べて、何と街は便利にできているのか、と改めて思った。思えば良かった事よりも、辛かったことの方がはるかに多い合宿だった。重い荷物を持った上に、慣れない山歩き。うなだれて、足元を見つめて歩くのが精一杯で、景色を眺める余裕もなかった。



しかし、そんな時だったからこそ、垣間見た紅葉の絢色や雲海に浮かんで見えた山々の青さ、冴えわたった夜空に瞬いていた星の輝きや、湧き水の冷たさまでが、鮮烈なイメージとして残っている。今度はもう少し余裕を持って、山の良さがわかるようになれば良いと思った。

第1日目無事終了。南御室小屋テント内



「疲れたあ、水虫ども豆でも食べ」有馬敬幸君(土3)→

「俺の寝る場所ここよ」石井好明君(機1)

「ハラヘッタ」蔵本晃三君(通1)

## ■秋合宿を終えて 渡辺浩史(建・1年)

我々の活動には試合がなく、合宿が主体だ。自然が相手だけに、岩場や断崖絶壁、強風、霧、その他にも多々危険や困難がある。それに対して速やかに判断し、円滑に皆が動くようにすることが必要だ。厳しさや困難は人間を強くすると思う。

これからも、沖縄から北海道まで旅をして回り、いろいろなものを見て、聞いて、触れて、貴重な体験をし、たくさんの人と出会っていきたい。

## 地域と密着した活動がワングル部の伝統

——いかがでしたか。ワングル部の部員たちが、自然に立ち向かっていく姿をイメージしていただけたでしょうか。

一つ間違えば、大きな事故につながる自然との付き合い方。それぞれに役割分担がしっかりとなされているからこそ、自然と楽しく接していられるのだと感じます。

「OBの方々のバックアップがあるからこそ、安心して活動ができるんです」とは、来年度、関東学生ワングル部連盟の連盟委員長に決定



▲重責を担う加藤君

した、主将の加藤宏幸君(経営工学科3年)の言葉。たくさんのOBの方々が活動を見守っている様子がうかがえます。毎年秋には、蓼科にある武蔵工大の山小屋「じんじろげ小屋」で、床の張り替えや小屋の補修活動なども実施。地元の人々との交流を深めているのも伝統だとか…。

この他、関東学生ワングル部連盟主催による山や川でのゴミ拾いに参加したり、武蔵工大付近で名物になるような散歩道を学生から募集したり(本紙13P参照)と、精力的に活動するワングル部——。これからも事故のないよう、思う存分自然の素晴らしさを体感してほしいと思います。



# CAMPUS TOPICS

## "キャンパストピックス"

### ◎赤十字水上安全法講習会

水の事故から生命を守るための知識や技術を学生に指導するため、9月13日から18日にわたり水上安全法講習会が本学にて開催されました。赤十字社による講習会は、今年の6月にも救急法および水上安全法と2回の短期講習(各150分)が行われていますが、5日間計30時間にもおよぶ実技を含めた本格的な講習会の開催は初めてのこと。

水に係わる課外活動を行っているクラブの学生を主体とした25名は、午前中の講義と午後のプールでの実技を指導員のもとで4日間行い、これらの講習を全日程欠席・遅刻・早退なしで参加した学生には修了証がわたされたほか、最終日に実施した筆記試験および実技試験での成績優秀者11名には、合格者として救急員・救助員適任証(5年間資格有効)が交付されました。



### ◎クリーンキャンパス運動の輪

ごみに関する様々な問題は近年マスコミでもたびたび取り上げられているテーマですが、本学でも4年前からクリーンキャンパス運動が展開されていることはご存じでしょうか。

この運動の中心となっているのがクリーンキャンパス促進の会で、10月9日(出晴天のもと、促進の会のメンバーと学生団体連合会の学生および教職員のほか、卒業論文で環境問題を取り上げるので興味があって…という学生や、たまたま大学を

訪れたらおもしろそうだったので参加したという卒業生や在学生の総勢約30名で、空き缶やタバコの吸い殻を拾うなどの学内外の清掃を行いました。

その後、教室に場所を移してクリーンキャンパス促進の会の総会が開催され、学内をきれいに保つにはどうしたらよいか意見交換が行われました。本学はごみ箱の設置数などからいえば、設備的には十分といえる反面、それでも跡を絶たないポイ捨てについては学生のモラルに訴えるしかない。「クリーンキャンパス促進の会自体のPRを行う」「環境を扱う授業を必修にする」「清掃している姿を多くの学生に見てもらう」などの様々な意見が飛び交いました。この総会は約2時間にもおよび、ごみ問題について学生の間でも関心が高まっていることから、今後この運動がますます活発化するのではないかと思います。



### ◎大学周辺の散歩道コース募集企画

武蔵工業大学を訪れた方なら、その周辺の自然の豊かさにたぶん気付かれたのではないのでしょうか。そんな素晴らしい環境にもっと目を向けても





らおうという狙いで、このたび「武蔵工業大学周辺の散歩道コース」を学生および教職員に募集したところ、なんと延339通もの応募がありました。あまりの反響の大きさに、この企画の提案者である星野学生部長や主催したワンダーフォーゲル部はうれしい悲鳴をあげる一方、選考については、かなり困難な作業となってしまいました。

審査の規準は、散歩をするのに妥当な距離や歩きやすさ、景色の素晴らしさや見所が盛り込まれているのはもちろんのこと、たくさんの道の中から一つの道筋を決定するにあたって、それについてなんらかの意味付けがきちんとされているかどうか重要になります。

これまで数回の下審査が行われており、約50通までしぼられた「散歩道」は、現在ワンダーフォーゲル部に実際に歩いてもらい、最終的には最優秀賞1点・優秀賞4点他が選ばれる予定です。

### ●留学生との交流の会

「平成お祭り事情・MITもないとは言わせない」のキャッチフレーズで始まった第64回MIT祭は盛況のうちに終了しましたが、今年は毎年恒例となっている留学生達が作る水ぎょうぎの店に支店が誕生しました。タコスとタイカレーを売り物に、本店と肩を並べる程人気のこの店を支えているのは、留学生との交流の会のメンバーです。

中心となっているのが機械2年の鈴木洋君と高野義和君で、昨年のMIT祭で留学生のお店を手伝ったのがそのきっかけです。今年は事前



に留学生との交流を目的に店を手伝ってくれる学生を募集したところ、12名の学生が集まり「中国武術の話がしたくて」と言う電気1年・永池清君や「面白そうだったので」参加したと言う建築3年・鈴木納美子さんなど動機は様々ですが、最終日には本店・支店と売り上げの報告を行い、互いの健闘を称えてのビールの乾杯にすっかり交流も深まったようです。

### ●クラブ短評

1. サッカー部は、東京都大学サッカー秋季リーグ戦の4部Cブロックにおいて優勝し、その結果3部に昇格を果たした。
2. 硬式庭球部の河野圭吾君(機械工学科2年)は、関東理科大学個人トーナメント大会シングルス部門(970名出場)において準優勝を果たした。
3. 洋弓部の山下哲生君(機械工学科3年)、大杉彰義君(電子通信工学科3年)、高木英夫君(機械工学科3年)の3名は、関東大会等で上位入賞を果たした結果、全日本学生フィールドアーチェリー大会に出場し、山下君は3位に入賞した。また、9月26日に行われた光が丘オープン大会では、社会人を含む142名が出場したうち、石井康雄君(電子通信工学科2年)が優勝した。
4. バチラーセブンのロックバンド「Acid Spice」は、10月31日明治学院大学で行われたバンドコンテストにおいて、80バンド(予選含む)の中から入賞を果たし、その結果11月22日、竹芝のライブハウスにおいて、プロのバンドとライブを行った。
5. スカイスports同好会の安 浩輝君(土木工学科2年)は、国内最大級の学生大会「パラグライダースチューデントチャンピオンシップ」エキスパートクラス(最上級クラス)において118名中10位入賞を果たした。



# 平成5年度「大学と父母との連絡会」について

平成5年度の「大学と父母との連絡会」は、7月10日(日)の沖縄県那覇市を皮切りに、9月26日(日)の東京地区までの間、全国26会場において開催されました。各会場の出席状況は下記のとおりで、各地において評議員の方々には会の運営等にご協力いただきました。

## ■平成5年度「大学と父母との連絡会」の出席状況

| 開催地      | 開催日                    | 会場名                 | 対象県 | 対象者数  | 出席者数 | 出席率   | 平成4年度 |
|----------|------------------------|---------------------|-----|-------|------|-------|-------|
| 釧路<br>札幌 | 9月15日(水・祝)<br>9月14日(火) | 釧路東急イン<br>札幌ガーデンパレス | 北海道 | 56名   | 18名  | 32.1% | 29.1% |
| 青森       | 9月11日(土)               | 青森第一ホテル             | 青森  | 11    | 2    | 18.2  | 13.3  |
|          |                        |                     | 岩手  | 16    | 3    | 18.8  | 26.3  |
|          |                        |                     | 秋田  | 29    | 6    | 20.7  | 43.3  |
| 仙台       | 9月12日(日)               | ホテルサンルート仙台          | 宮城  | 32    | 10   | 31.3  | 24.1  |
|          |                        |                     | 山形  | 19    | 6    | 31.6  | 7.7   |
| 郡山       | 9月11日(土)               | チサンホテル郡山            | 福島  | 43    | 17   | 39.5  | 37.2  |
| 宇都宮      | 9月12日(日)               | 関東チサンホテル宇都宮         | 栃木  | 64    | 15   | 23.4  | 39.0  |
| 水戸       | 9月10日(金)               | 三の丸ホテル              | 茨城  | 95    | 25   | 26.3  | 33.7  |
| 長野       | 9月4日(土)                | 長野ファーストホテル          | 長野  | 123   | 27   | 22.0  | 35.3  |
| 甲府       | 9月5日(日)                | 甲府ホテル               | 山梨  | 61    | 17   | 27.9  | 34.4  |
| 金沢       | 9月4日(土)                | 金沢東急ホテル             | 石川  | 49    | 15   | 30.6  | 34.0  |
|          |                        |                     | 福井  | 10    | 2    | 20.0  | 20.0  |
| 富山       | 9月5日(日)                | 富山エクセルホテル東急         | 富山  | 35    | 10   | 28.6  | 41.2  |
| 東京       | 9月26日(日)               | 武蔵工業大学              | 東京  | 975   | 123  | 12.6  | 14.0  |
|          |                        |                     | 神奈川 | 1,450 | 224  | 15.4  | 14.8  |
|          |                        |                     | 千葉  | 278   | 23   | 8.3   | 12.3  |
|          |                        |                     | 埼玉  | 304   | 36   | 11.8  | 11.0  |
| 高崎       | 9月11日(土)               | 高崎ターミナルホテル          | 群馬  | 56    | 14   | 25.0  | 31.5  |
| 新潟       | 9月12日(日)               | ホテルイタリア軒            | 新潟  | 44    | 18   | 40.9  | 45.2  |
| 静岡       | 9月4日(土)                | サンパレスホテル            | 静岡  | 230   | 76   | 33.0  | 36.7  |
| 浜松       | 9月5日(日)                | マルコーイン・浜松           |     |       |      |       |       |
| 名古屋      | 9月4日(土)                | 名古屋東急ホテル            | 岐阜  | 26    | 2    | 7.7   | 4.3   |
|          |                        |                     | 愛知  | 78    | 26   | 33.3  | 33.3  |
|          |                        |                     | 三重  | 24    | 4    | 16.7  | 21.4  |
| 大阪       | 9月3日(木)                | 東洋ホテル               | 滋賀  | 4     | 0    | 0     | 14.3  |
|          |                        |                     | 京都  | 11    | 1    | 9.1   | 7.7   |
|          |                        |                     | 大阪  | 12    | 1    | 8.3   | 30.0  |
|          |                        |                     | 兵庫  | 15    | 3    | 20.0  | 26.7  |
|          |                        |                     | 奈良  | 7     | 1    | 14.3  | 40.0  |
|          |                        |                     | 和歌山 | 12    | 1    | 8.3   | 20.0  |
| 岡山       | 8月29日(日)               | 岡山東急ホテル             | 鳥取  | 8     | 3    | 37.5  | 30.0  |
|          |                        |                     | 岡山  | 28    | 11   | 39.3  | 40.0  |
| 広島       | 8月28日(土)               | 広島インテリジェントホテル       | 広島  | 70    | 27   | 38.6  | 32.0  |
| 小郡       | 8月27日(金)               | 山口グランドホテル           | 島根  | 13    | 2    | 15.4  | 42.9  |
|          |                        |                     | 山口  | 28    | 12   | 42.9  | 34.5  |
| 高知       | 9月4日(土)                | ホテルサンルート高知          | 徳島  | 12    | 2    | 16.7  | 16.6  |
|          |                        |                     | 高知  | 19    | 9    | 47.4  | 57.1  |
| 松山       | 9月5日(日)                | シャトーテル松山            | 香川  | 15    | 3    | 20.0  | 23.1  |
|          |                        |                     | 愛媛  | 22    | 9    | 40.9  | 43.8  |
| 福岡       | 8月29日(日)               | ホテルステーションプラザ        | 福岡  | 51    | 12   | 23.5  | 44.0  |
|          |                        |                     | 佐賀  | 5     | 1    | 20.0  | 25.0  |
|          |                        |                     | 長崎  | 14    | 3    | 21.4  | 40.0  |
|          |                        |                     | 熊本  | 8     | 1    | 12.5  | 14.3  |
|          |                        |                     | 大分  | 25    | 6    | 24.0  | 69.6  |
| 宮崎       | 8月28日(土)               | ホテル・メリディアン          | 宮崎  | 18    | 11   | 61.1  | 25.0  |
|          |                        |                     | 鹿児島 | 16    | 3    | 18.8  | 9.1   |
| 那覇       | 7月10日(土)               | 沖縄東急ホテル             | 沖縄  | 14    | 11   | 78.6  | 81.8  |
|          |                        |                     | 合計  | 4,535 | 852  | 18.8  | 20.5  |